

編集主幹 岩田健太郎

感染症の現在を発信！ [ジェイ・イデオ]

奇数月
10日発行

Journal of Infectious Diseases Educational Omnibus

微生物から公衆衛生まで、
まるごと詰まった
感染症総合誌！

2025年
定期購読
申込受付中！

中外医学社
<http://www.chugaiigaku.jp/>

J-IDEO は国内唯一の感染症総合誌です！

2017年3月に創刊した「J-IDEO」はおかげさまで9年目を迎えることができました。30コンテンツ以上の多彩な連載記事、感染症領域の brand-new な情報をお届けする HOT TOPIC、専門誌ならではのツボを突いた Special Topic などなど、「面白くて深い」感染症情報が今後も目白押し！今まで感染症にあまり興味が持てなかった方、ディープな感染症マニア、医師はもちろんナース・薬剤師・臨床検査技師まで、「J-IDEO」はこれからもあらゆる医療者に開かれた国内唯一の感染症総合誌として走り続けます！

It's a J-IDEOism!

編集
主幹 岩田健太郎

編集
委員 倉井華子 黒田浩一 坂本晴世
山田和範 山本 剛

感染症の雑誌は2年持たない、などというジンクスがある。いや、感染症のみならず、医学誌受難の時代である（雑誌そのものが受難の時代なのだが）。そんななか、2017年に創刊した J-IDEO は8年間も読み続けられ、9年目に突入してきた。これもすべて、編集委員の慧眼、編集諸氏の絶え間ない努力、執筆者の専門知とメッセージ伝達力の高さ、なによりも読者の皆様のおかげである。この場を借りて、皆様に御礼申し上げます。この6年間で J-IDEO 周辺の環境は激変した。言うまでもなく COVID-19 の襲来だ。J-IDEO でも COVID-19 関連の論説や連載記事は多々出した。そのことが新しい読者を獲得した一要素であることは間違いないと思う。

J-IDEO では多種多様な執筆者に原稿をお願いしているが、全体的には「読みやすさ」を重要視している。それは、感染症専門家だけが感染症にコミットしているわけではない、という当たり前の理由からで、専門内外を問わず、さまざまな職種の読者にも気持ちよくコンテンツを読んでもらいたいとの我々の思いからでもある。専門誌なんだけど、専門家以外お断り、な雰囲気を作らない。ちょっとアクロバティックなこの二律背反に我々はこの6年間、腐心してきたと言ってもよい。

そのことで、COVID-19 の情報に飢えていた医療従事者以外の一般読者の方々も J-IDEO をご購入いただいたとも耳にしている。さすがに医療職以外の方が本誌を読むと少しハードルが高いような気もするが、それでもがんばれば読めない内容ではない、とも思っている。石川雅之先生の可愛らしくも人目を引く表紙にも助けられた。あれで、「一見さんお断り」感は激減したはずだ。

しかし、J-IDEO の真髄はもちろん、「読みやすさ」にはない。その真髄はコンテンツのオーセンシティシティにこそある。オーセンシティシティ。内容がしっかりとっていて、妥当性が高いということだ。

残念ながら、日本では本屋で「医学・健康」本のコーナーに行くと、内容がデタラメな書籍があまりにも多い。「健康雑誌」なるジャンルもインチキなコンテンツに満ちている（まじで）。インフォデミックの時代に、このようなデタラメな情報に惑わされ、自らの健康を害している方のなんと多いことか。しかも、そのようなインチキ本や雑誌を熱心に読むのが健康を希求している方なのだから、この問題は本当に深刻だ。これが新型コロナになると最悪で、「ノストラダムスの大予言」（古い？）レベルの流言飛語に満ちている。

J-IDEO においては内容の妥当性こそが命である。読みやすさを目指すあまり、適当な内容でお茶を濁したり、読者をミスリードしたりしない。読者の興味関心、あるいは欲望を満たす

だけの扇情的なコンテンツも皆無である。楽観的な内容であれ、悲観的な内容であれ、その内容の妥当性こそが大事なのだ。事実から目を背けてはいけない、こんな時代であっても。

J-IDEO は、たとえ翻訳されて世界各国の感染症のプロが読んでも恥ずかしくない内容だと自負している。もちろん、どんな学問領域にも異論反論はあるだろうから「この見解には賛同しない」という専門家は一定数存在することだろう。J-IDEO には「Letter to the Editor」のシステムもあるから、異論反論はぜひ投稿して、活発な議論で学問領域の前進に寄与していただきたい。「内容はしっかりしてるけど、オチャラケた文体がムカつく。学術誌はもっと厳粛で権威的な書き方をすべきだ」という「べき論」もあるかもしれない。そういう方は上の文章を読み直してください。「ぶっちゃけ、イワタが気に入らないから、あんなものは読みたくない」という人もいるかもしれない。イワタのことは嫌いでも、J-IDEO のことは嫌いにならないでください。

もちろん、J-IDEO は COVID 専門誌ではない。感染症という非常に広大な領域のすべての項目を網羅する総合誌である。スペシャルなのに、ジェネラルなのだ。読みたいコンテンツを読みたいところから、読者のニーズに合わせて自由にお読みいただきたい。あと、バックナンバーを取り出して読み直すのもオススメです。

これからも「読みやすいけど、役に立つ」J-IDEO をどうぞよろしく願います。

編集
主幹 岩田健太郎



いわた・けんたろう

神戸大学大学院医学研究科 微生物感染症学講座 感染治療学教授

◆編集主幹
岩田健太郎

神戸大学大学院医学研究科
微生物感染症学講座
感染治療学教授



◆編集
倉井華子

静岡県立静岡がんセンター
感染症内科



◆編集
黒田浩一

神戸市立医療センター
中央市民病院感染症科



◆編集
坂本晴世

国際医療福祉大学大学院
看護学分野



◆編集
山田和範

中村記念病院薬剤部係長
北海道科学大学薬学部



◆編集
山本 剛

大阪大学感染症総合教育研究
拠点(CIDER)大阪大学医学部
附属病院感染制御部



J-IDEO

編集委員のご紹介
錚々たる連載執筆陣を束ねる、
6人の編集委員をご紹介します。



読者の皆様からも
ご好評をいただいで
おります!

読者の声

※本誌アンケートより抜粋

「非常に大きな学びを得られる雑誌だと思います。ケースカンファレンスが勉強になります。毎号の Special Topic も秀逸です」(勤務医)

「非常に勉強になりお世話になっています。現在は感染症を専門には診療を行っていませんが、この雑誌から沢山のことを学ばせて頂いています」(勤務医)

「とても素晴らしい書籍で、ずっと続いていくことを願っています。表紙のイラストも毎号楽しみです!」(勤務医)

「学生、研修医でもわかる内容があるのが良いです」(研修医)

「今月号もすごく楽しく読ませていただきました。様々な視点から書かれているので、新しい知識の習得や、復習などで大変重宝しています」(薬剤師)

「年間購読をお願いしており、いつも届くのを楽しみにしています。セファゾリンの供給不足に対する対応など、現場が困っていることを早急に取り上げてもらいすごく有難いです」(薬剤師)

「ジャンプの発売を待つように、毎号楽しみにしています」(薬剤師)

「創刊号からの大ファンです。堅苦しさがなく、気楽に読める今までにないタイプの感染症雑誌です。これからもこの雰囲気が続けて頂きたいです」(検査技師)

研修医のための
微生物レクチャーシリーズ
グラム染色所見と
培養結果からどう考える？

【黒田浩二】

今日も明日もAMR対策

【具芳明】

基礎から臨床につなぐ
薬剤耐性菌のハナシ

【西村翔】

感染エクスリブリス

【河村一郎】

駆け出し感染症内科医の
Clinical Questions
調べたことは共有して、
みんなで賢くなろう！

意外と知らない！
肝臓(きも)のキモ

【松尾裕典】

一から見直す感染対策

【坂本晴世】

あの手この手の
ASP!!

【杵秀樹】

微生物検査の基本であるグ
ラム染色と培養検査の結果
をどのように解釈し実臨床
に役立てていくべきか、ミ
ニレクチャー形式でわかり
やすく解説します。

日本だけでなく世界中で
大きな課題となっている薬
耐性(AMR)対策につい
て、その最前線からわかり
やすくお伝えします。

近年より注目度が高まりつ
つある「薬剤耐性菌」。本連
載では基礎・臨床の両面か
らわかりやすく解説します。

この世に数多ある感染症を
めぐる物語。著者一押しの
書籍や資料を、独自の視点
で紹介いたします。気になる書
籍があったら手に取ってみ
てください。

若手感染症内科医が臨床現
場で感じた疑問を調べて共
有する勉強会を「U-DEO」
誌上で開催。抗菌薬適正使
用から最新の話題まで、リ
レー形式で解説します。

奥深き Hepatology の世界
の基礎から最新の知見まで、
実臨床に直結する話題をわ
かりやすく解説します。

COVID-19 により大切さが
再認識された感染対策につ
いて、徹底的に解説します。
改めて自施設の感染対策を
見直してみてもいいかです
ようか。

実際のASP活動のなかで、思
考停止に陥ることなく、あ
の手この手で抗菌薬適正使
用を推進した症例を解説し
ます。

好評連載中の

感染症分野のエキスパートたちのコンテンツ

連載
33本

人間だって動物だ！
動物から学ぶ人の医療

【倉井華子、田向健一】

日本全国感染症
ケースカンファレンス
道場破り
シーズン2

【忽那賢志】

突破口 感染症診療の「難問」に
答えはあるか

【岩田健太郎】

渡航医学B級情報局

【勝田吉彰】

統計学のABC

【吉村健二】

This worry world
「ようこそ」
寄生虫の世界へ

【中村(内山)ふくみ】

ちよっとだけ余計にがんばる
病院の感染対策

【本田 仁、崎浜智子】

小児感染症ニュース

【日馬由貴】

獣医と感染症臨床医による
対談形式の連載です。ビ
ットも動物という認識に立ち返
り、ビットと動物の視点から
感染症に関わるさまざまな
問題点を見つめていきます。

あの「道場破り」が帰って
きた！ 新たな強敵と難症
例に出逢うため、忽那先生
と上村先生が全国のケース
カンファレンスを巡る旅路
がいま再び……

感染症の現場で棚上げされ
ている難解な問題を総合内
科医D先生が論理的かつ徹
底的に解きほぐす！ 現時
点におけるリアルな解決の
糸口を示します。

渡航医学に関する旬なニュ
ースを取り上げ、第一人者
である筆者が詳しく解説。
遠い海の向こうの話がぐっ
と身近に、日々の臨床に直
結した話題として紹介しま
す。

統計学を初歩の初歩からコ
ンパクトに解説。感染症関
連の気になるトピックを取
り上げつつ、日々の臨床に
役立つ統計知識を紹介しま
す。

寄生虫のエキスパート中村
先生が寄生虫に関する基礎
知識、興味深い症例や文献
タイムリーなトピックなど
を幅広く紹介します。

ICTメンバーがもう半
歩ステップアップするための
医療関連感染対策情報を
紹介！ 本田先生と崎浜先
生によるリレー連載です。

日馬先生と一緒に、小児感
染症に関する論文をみてい
こう！ という連載です。
ときどき脳道に逸れつつも
毎号楽しく解説していただ
きます。

小児感染症科医も
タジタジにする白熱教室
【大竹正悟、他】

JOIS presents
知っておきたいがん+
感染症

J-IDEO Journal club

今月のカビ!!

【亀井克彦】

子どもと大人の感染症

【齋藤昭彦】

呼吸器感染症よもやま話

【倉原 優】

抗菌薬相互作用整理 BOX

【山田和範】

抗菌薬選択
チェックメイトへの道

【山田和範】

抗菌薬
アナザーストーリーズ

感染症の非専門医からの質問に、若手小児感染症医が答えていきます。たまにタジタジします。成人を診る感染症医にもきつと役立つはずです。

Japanese Oncological Infection Society (JOIS) メンバーの監修による、「がん+感染症」をテーマにしたレビュー連載です。

海外の主要ジャーナルから感染症関連のトピックを取り上げ、エビデンスサマリーをまとめて解説します。毎月各施設の若手医師がレビュー方式でレビューします。

カビの世界は奥深いものの、臨床医にはとつきにくい存在。CTや検査値の所見などもまじえ、臨床医が気になる最新情報を厳選して紹介します。

子どもは大人のミニチュアではないといわれるように、小児感染症の世界には大人とは異なる難しさ、面白さがあります。齋藤先生がその魅力について語ります。

ブログ「呼吸器内科医」(<http://pulmonary-exblog.jp/>)や「本当にあった医学論文」でおなじみの倉原先生が紡ぐ、寝ころんで読める呼吸器感染症コラムです。

抗菌薬治療を実施するうえであまり影響しない相互作用から、注意しなければいけない相互作用まで、重要性と臨床で出会う頻度を軸に☆評価で解説します。

感染症の薬物治療について、薬剤師の視点で抗菌薬選択にあたり、いろいろな考えを巡らせながら提案するリアルな垣間見ていただくことを目指しています。

毎号ひとつの薬剤に関するトピックを取り上げ、その薬についての印象や思い入れなど、経験ベースでの知見を薬剤師ならではの視点から語るレビュー連載です。

コンテンツ一覧 (五十音順)

をまとめて読めるのは、「J-IDEO」だけ!

利己的腸内細菌叢

【内藤裕二】

Youは何しに検査室へ?

めざせレベルアップ!
輸入感染症冒険の書

【石金正裕】

マイナスから始める
性感染症診療

【谷崎隆太郎】

PROFESSIONALS
総合内科×感染症科

非「専門家」のための
HIV 感染症との関わり方

【塚田訓久】

微生物検査 危機一髪!

【山本 剛】

肺炎診療の最先端

【城下彰宏】

腸内細菌叢のエキスパートである内藤先生に、さまざまな疾患との関わりや最新のトピックを感染症に携わる医療者へ向けて解説いただく集中連載です。

時々ふらりと検査室にやってくる医師たち。彼らは何を思い、何のために検査室に足を運ぶのか……彼らが検査室に入りする理由やそこから得たものについてYOU本人に聞いてみました。

コロナ禍で減少した輸入感染症について、一から学び直せるよう超基本からわかりやすく解説していきます。

性や性感染症について、さまざまな偏見や誤った知識を払拭し、系統的に学び直そう、解説していただく連載です。

総合内科と感染症科、両科が関わったからこそ診断に至った症例を解説するリレー連載。最終診断は感染症に限りません。ぜひ最終診断を推測するとともに、両科の思考の流れを体感してみてください。

非「専門家」の「どこまで知って手を出していいの?」「どこまで手を出していいの?」「ガイドラインに書いてあるけど意味がわからん」を解消し、HIV感染症に関わるハードルを下げることを目標にしています。

感染症の診断時に有用な情報を提供してくれる微生物検査について、検査の特性やプロセス、結果を診療にどう活かすかについてわかりやすく解説します。

肺炎に関して臨床医がおさえたいポイント、最新の知見やトピックをまじえながら紹介する集中連載企画。

J-IDEO 各号のSpecial Topic

J-IDEO では通常の連載のほか、「Special Topic」として感染症をめぐる様々なテーマ・トピックを取り上げ、鋭くアプローチします。各領域の第一人者である気鋭のゲストライターの登場にご期待ください。

Vol.4 No.6



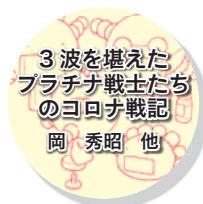
Vol.5 No.1



Vol.5 No.2



Vol.5 No.3



Vol.5 No.4



Vol.5 No.5



Vol.5 No.6



Vol.6 No.1



Vol.6 No.2



Vol.6 No.3



Vol.6 No.4



Vol.6 No.5



Vol.6 No.6



Vol.7 No.1



Vol.7 No.2



Vol.7 No.3



Vol.7 No.4



Vol.7 No.5



Vol.7 No.6



Vol.8 No.1



Vol.8 No.2



Vol.8 No.3



Vol.8 No.4



Vol.8 No.5



Vol.8 No.6



J-IDEO 各号のHOT TOPICほか

「HOT TOPIC」や「特別企画」では、感染症界隈の旬のトピックや気になる話題を取り上げます。J-IDEO では、医療者に役立つ最新の情報を発信していきます。

[2019年9月号] Vol.3 No.5

[HOT TOPIC]

コンゴ民主共和国のエボラ流行の状況と
post-exposure prophylaxisについて

カシンスキー・リチャード

[2019年11月号] Vol.3 No.6

[HOT TOPIC]

伴侶動物病院における人用抗菌薬の販売量調査

田村 豊

[2020年3月号] Vol.4 No.2

[HOT TOPIC]

イヌに由来する

多剤耐性*Campylobacter jejuni*感染症の
アウトブレイク

田村 豊

日医工工場見学レポート

日馬由貴

[2020年5月号] Vol.4 No.3

[HOT TOPIC]

ペットのヘモ plazma がヒトに感染した？

田村 豊

[2020年7月号] Vol.4 No.4

[HOT TOPIC]

新型コロナウイルスはペットに感染するのか？

田村 豊

[2020年9月号] Vol.4 No.5

[HOT TOPIC]

家畜関連型MRSAがヒトから分離された！

田村 豊

[2021年1月号] Vol.5 No.1

[緊急掲載]

非専門家のための

COVID-19診療（入院管理）の提案

岩田健太郎

[2021年5月号] Vol.5 No.3

[Special Interview]

ワクチン接種の現状と展望

矢野晴美

[2021年7月号] Vol.5 No.4

[HOT TOPIC]

抗菌薬供給状況，ワクチン供給状況

[2021年9月号] Vol.5 No.5

[HOT TOPIC]

新型コロナウイルスと抗体カクテル療法

岩田健太郎

[2021年11月号] Vol.5 No.6

[Special Interview]

新型コロナウイルス感染症

札幌・北海道の現状と感染症コンサルタント活動

岸田直樹

[2022年1月号] Vol.6 No.1

[HOT TOPIC]

新型コロナワクチンの3回目接種

黒田浩一

[特別企画]

昆虫食について轟喰ロトフ先生に訊く

佐伯真二郎×倉井華子

[特別企画]

当院のCOVID-19診療体制

[2022年3月号] Vol.6 No.2

[特別座談会]

これからのCOVID-19診療，
病院と地域の連携をどうすべきか？

岸田直樹，黒田浩一，尾崎治夫，佐々木 淳，高山義浩，松島和樹

[特別企画]

コロナ禍での感染症内科医の働き方

[HOT TOPIC]

SARS-CoV-2遺伝子検査法

松村康史

[特別企画]

突撃！ とんりの新型コロナウイルスPCR 検査 [前編]

[2022年5月号] Vol.6 No.3

[特別企画]

突撃！ とんりの新型コロナウイルスPCR 検査 [後編]

[2022年7月号] Vol.6 No.4

[HOT TOPIC]

サル痘総説

石金正裕

[HOT TOPIC]

小児の原因不明の急性肝炎

堀越裕歩

[2022年9月号] Vol.6 No.5

[HOT TOPIC]

サル痘総説② 今回の流行で特徴的なこと

石金正裕

[2022年11月号] Vol.6 No.6

[HOT TOPIC特別対談]

2022年の注目すべき感染症

岩田健太郎×石金正裕

[2023年9月号] Vol.7 No.5

[HOT TOPIC]

入院前の全患者にSARS-CoV-2スクリーニング検査を行う必要があるのか？

[2024年3月号] Vol.8 No.2

[HOT TOPIC]

能登半島地震における災害医療

[特別企画]

熱血!! グラム染色30本ノック厳選問題

山本 剛

[2024年7月号] Vol.8 No.4

[HOT TOPIC]

ESCMID Global 2024 参加報告

石金正裕

◆ J-IDEO 定期購読 2大申し込み特典！ ◆

特典① 送料無料^{※1} & 10% 割引

定期購読で申し込んだ場合のみ、割引料金が適用されます。

■ 毎号個別にご購入の場合……

税込 2,970 円 × 年間 6 冊刊行 → 税込 17,820 円

■ 定期購読お申し込みの場合……

年間 6 冊をご自宅、施設に直送（送料当社負担） → 税込 **15,950 円**

※1 日本国内ご指定の住所に送料無料でお届けします。

10% OFF!



特典② 過去の Special Topic をプレイバック配信！

「J-IDEO」創刊号以降のアーカイブ記事から Special Topic を特別無料配信^{※2}。

また本誌には掲載されない特別限定記事も配信予定です^{※3}。

※2 メディアプラットフォーム「note」を利用してご指定のメールアドレス宛に記事を配信致します。

※3 弊社 note で今後販売予定の有料記事数本を無料で配信致します（内容未定）。

配信の申込み方法は 2025 年 1 号をお届けの際に同封します。

書き下ろし記事も
配信予定



配信予定の Special Topic^{※4}

- De-escalation を総括する
- ケアバンドル 医療関連感染症を減らす
- β-ラクタマーゼ
- 呼吸器科の最後の砦で出会う感染症たち
- 岩田健太郎 × 青木 真 特別対談
- 感染症医のための傾向スコア分析
- 令和元年のグラム染色論
- 感染症数理モデル入門
モデリングの威力を知る
- 風邪診療と「禅」
- 疥癬の感染対策
- 一カイセン問屋ヒゼン屋見参ー
- 感染症治療薬の PK/PD
ほか多数

※4 配信タイトルは変更の可能性がございます。

概要

誌名	J-IDEO ジェイ・イデオ
創刊	2017 年 3 月
発行形態	隔月刊（1 月、3 月、5 月、7 月、9 月、11 月に刊行）
製本	B5 判 160 頁
1 冊定価	税込 2,970 円
年間購読	2025 年度年間購読料 税込 15,950 円



中外医学社

〒162-0805 東京都新宿区矢来町62
http://www.chugaiigaku.jp/

TEL: 03-3268-2701 FAX: 03-3268-2722
E-mail: sales@chugaiigaku.jp 【営業部】